

2024ジェンダー平等推進トツプリーダー宣言

アンコンシャスバイアスを克服し、男女平等参画を実現しよう!



連合山形 会長 舩山 整

世界経済フォーラム発表の2023年ジェンダー・ギャップ指数は、日本は0.647で、146か国中125位、完全に後進国状態です。中でも政治・経済参画が特に遅れています。連合山形は、労働組合として、ジェンダー平等への取り組みを一步一步着実に進めていきます。

ジェンダー平等委員会 委員長 西部 政行

現在取り組んでいる「ジェンダー平等推進計画」フェーズ1では、男女平等参画推進のための環境整備に取り組んできました。連合山形では男女平等月間において、女性のための労働相談やジェンダー平等フォーラムを実施し、働きやすい職場づくりとジェンダー・バイアスの払拭に取り組んでいきます。

電機連合山形地域協議会 議長 柿崎 隆英

男女がともに仕事と生活の調和を図りさらなる多様性を包摂し、性別や年齢にかかわらず一人ひとりの持つ能力や個性が発揮できる職場環境を作り、ゆとりと豊かさが実感できる生活の実現と共に男女平等社会を実現します。

全国交通運輸労働組合連合山形県支部 委員長 齋藤 洋次

私達の産業は他産業に比べ女性の比率が低ですが、近年運転者不足から女性ドライバーの採用・育成が進んでおり、本部主催女性集会や研修会の場を活用し、女性組合員の参画、リーダー育成を推進し、さらなる組織の活性化・強化に繋がります。

山形県教職員組合 執行委員長 遠藤 学

私たち教職員組合では、性別で分けられない名簿や学校制服のジェンダーレス（選択制）などを提言してきました。ジェンダー平等意識は学校現場でもここ数年で大きく進展し、浸透してきています。2024年度さらに推進強化していきます。

JAM山形県連絡会 会長 納富 聡

ワーク・ライフ・バランスを確保するためには、仕事と育児や介護などの両立のための環境整備が不可欠となっています。われわれJAMは性別にかかわらず、その個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現のため、職場での男女間格差の解消など働く女性の処遇改善に取り組めます。

自治労山形県本部 執行委員長 渡部 貴之

「自治労ジェンダー平等推進計画」に基づき、ジェンダー平等に関わる学習会やセミナーの開催、誰もが働きやすい職場環境実現にむけ性別役割分担意識や長時間労働を前提にした労働実態の改善に取り組めます。

UAゼンセン 山形県支部 支部長 出利葉 康隆

UAゼンセンは、6割近くが女性の組合員が占めています。日々組合員の声を活動に生かすためにも、女性だけの声に限らず多様性の対応のできる組合活動を掲げ、出来ることから寄り添い実現していきます。

山形県東北電力総連 会長 近藤 雅彦

電力総連は、チェンジ必達目標とチャレンジ推進目標を設定したうえで、「労働組合における男女平等参画」と「職場・社会において“人権が尊重される社会の実現”に向けた運動」を両輪とし、電力関連産業の魅力をより高める運動を展開します。

情報労連 山形県協議会 議長 古川 和彦

私たちは、ダイバーシティ推進に向け、専門委員会（ダイバーシティ推進委員会）を中心に、取り組み状況や具体的な事例、課題等の共有を行い、情報労連全体でのさらなる取り組み促進を図ります。あわせて、職場実態等の調査結果を踏まえ、「ジェンダー平等推進計画（2021-2024年度）」における運動目標の達成に向け、すべての加盟組織において活動を展開します。

自動車総連・山形地方協議会 事務局長 佐藤 清高

男女平等を実現するためには、連合で取り組んでいる「ジェンダー平等」の活動に力を入れ、一人ひとりの意識や認識が大切だと思います。今は男女平等に限らず、ダイバーシティ&インクルージョンを求められる時代ではないでしょうか。誰もが働きやすい環境づくりをめざして活動に取り組んでまいります。

運輸労連山形県連合会 執行委員長 青木 孝典

運輸産業は、まだまだ女性の少ない産業ですが、組合員の率直な意見を汲みながら、女性が働きやすく活躍できる職場環境を整えるとともに、産別組織として男女平等参画社会の実現に向けて引き続き取り組んでいきます。

基幹労連山形県本部 委員長 墓丸谷 淳

基幹労連では、男女共同参画の重要性と意義を共有し、社会的役割の観点はもとより、企業の持続的発展、組合員とその家族の幸せ追求、そして男女が共に生き生きと働くことのできる職場づくりを目指していきます。

JAM山形青年委員会 議長 伊藤 雄太

JAM山形では、昨年度より青年協であるJAMPと女性協であるwithと合同での活動を行っております。今年度も引き続き合同での活動を行いながら、活動を通じて男女平等参画の推進をしていきます。

J R 総連山形県協議会 議長 大山 貴聡

J R 総連は、男女がお互いに尊重しあい性別に関係なく対等な立場で活動できるよう心がけています。組合活動への更なる参画とジェンダー平等の実現のため克服すべき課題を見つけ出し改善していきます。

山形県高等学校障がい児学校教職員組合 執行委員長 横山 伸一

SDGs目標5「ジェンダー平等を実現しよう」目標10「人や国の不平等を無くそう」すべての地球市民が、年齢、性別、障がい、人種、民族、生まれ、宗教、経済状態などにかかわらず「差別されない世界」を実現させましょう。

全水道山形県支部 執行委員長 本間 悟

全水道山形県支部は、性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮できる男女平等社会を目指し、各種会議に女性代議員枠の検討、単組執行部に女性組合員の配置など女性の社会進出と労働組合への参画を目指していきます。

東北労働金庫労働組合 山形県支部 執行委員長 中川 陽平

私たち全労金は組織全体でジェンダー平等に関する様々な取り組みを力強く進め、多様性が尊重される社会の実現を目指します。性別や雇用形態等に捉われず、誰もが等しく参画できる社会、働きやすい職場環境の構築に向け、単組版「第1次ジェンダー平等推進計画」を実践していきます。

山形県退職者連合 会長 三澤 裕

ジェンダー平等の取り組みについては、私たち退職者連合世代への理解度が低い傾向にあります。従って、2022年度より活動方針に取り組み強化を掲げた他、昨年は退職者連合集會に高木直先生をお招きし、ジェンダー平等社会実現への意識と行動を変えることを誓いました。まずは家庭生活において、会員を中心に固定的な性別差別意識や偏見を生じさせないよう浸透を図ります。

山形地域協議会 議長 岡田 洋輔

連合山形地域協議会は、すべての労働者の働き方の見直し、均等待遇と、仕事と生活の調和ができる環境をつくり、一人ひとりが尊重され多様性や包摂性のある社会実現に向け、意識の醸成をはかりまします。

置賜地域協議会 議長 高橋 純

性別に関わらず、全ての人が能力を発揮でき、やりがいを持ち、幸せを感じながら働ける環境は企業の持続的な成長には必要不可欠な要素です。連合置賜はジェンダー平等の重要性を認識しつつも、活動の実態としてはまだまだ十分とは言えません。男女平等月間を契機に、この取り組みを前進させる為に、“我々に何が出来るのか？”を幹事会等で議論し、見極めを行い、運動の拡大に努めてまいります。

酒田飽海地域協議会 議長 鈴木 涉

多様化しているこの世の中。あらゆる可能性を選択出来る様、誰もが生活しやすい平等な社会の実現をめざし、皆さんと共に努力していきます。

鶴岡田川地域協議会 議長 高梨 祥太

連合山形鶴岡田川地域協議会では女性が活躍できる社会を目指す為、性別・年齢などに関わらず誰もが多様性を認め合い思いやり、互いに支えあう事のできる職場・社会の実現にむけて取り組みます。そしてその先にある雇用や生活の安心・安定した社会・地域を目指します。

新庄最上地域協議会 議長 安食 洋志

様々な分野における男女の偏りを是正し、働く者が均等に処遇改善されるよう取り組みをしていかなければならない。合わせて、仕事と家事・育児などについての責任を互いに共有しあうことで、持続可能な社会の実現に、共に取り組んでいこう。

北西村山地域協議会 議長 三坂 賢一

ひとりひとりの人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる職場づくりの実現や意識の醸成に向けて、ともに取り組んでいきましょう。

山形地域協議会 議長 岡田 洋輔

連合山形地域協議会は、すべての労働者の働き方の見直し、均等待遇と、仕事と生活の調和ができる環境をつくり、一人ひとりが尊重され多様性や包摂性のある社会実現に向け、意識の醸成をはかりまします。

置賜地域協議会 議長 高橋 純

性別に関わらず、全ての人が能力を発揮でき、やりがいを持ち、幸せを感じながら働ける環境は企業の持続的な成長には必要不可欠な要素です。連合置賜はジェンダー平等の重要性を認識しつつも、活動の実態としてはまだまだ十分とは言えません。男女平等月間を契機に、この取り組みを前進させる為に、“我々に何が出来るのか？”を幹事会等で議論し、見極めを行い、運動の拡大に努めてまいります。